

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立今川小	学校	児童数	82
---------	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.47	20.43	32.11	40.69	54.41	9.43	151.54	21.43	53.89
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.45	19.27	37.39	39.37	35.63	9.86	142.24	13.71	53.20
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度の調査結果について、「体力合計点」において男子は全国の平均値を上回る結果であり、女子は大阪市の平均値を上回る結果であった。男女ともに上体起こしとソフトボール投げは全国の平均値を、反復横跳びと20mシャトルラン・立ち幅跳びは大阪市平均をそれぞれ上回り、男女ともに握力と長座体前屈が大阪市の平均値を下回る結果となった。

質問項目「運動やスポーツをするのは好きですか」において、男子の最も肯定的な「そう思う」の回答は85.7%と全国の平均値を13.0%と大きく上回った。女子の肯定的回答は78.4%と全国の平均値を7.4%下回る結果となった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子で6.3%と全国平均を3.5%下回り、女子は20.6%と全国平均を3.3%下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校においては、今川パワーアップタイム週間と称する体力向上強化週間を年間で数回設け、休憩時間に学校全体で楽しみながら体力を高める取り組みを実施してきた。子どもたちがより意欲的に様々な運動に関われるよう、運動委員会で子どもたちの意見を取り入れながら、企画・運営をした。竹馬、のぼり棒、うんてい、鉄棒、縄跳び、持久走などの様々な運動を年間を通じて行うことができるようにし、体力の向上を図ってきた。それぞれに専用の「がんばりカード」を作成し、目標達成者にメダルを渡すなど意欲面を高める取り組みも行うことで、子どもたちの運動に慣れ親しむ心を育て、進んで体を動かす子どもたちが増えたことに繋がっている。また、休み時間に講堂を開放することで、天候に左右されず運動に親しむ機会を多く作ることができた。一方で、上記の結果より、男女とも握力と長座体前屈が全国・大阪市平均より低いことがわかった。握力をつけるために掴む、握る、支える運動と柔軟性を高める運動を重点課題として取り組む必要がある。また、瞬発力・走る力は運動をするために必要不可欠であるので、走る、跳ぶといった運動も重点課題として継続的に取り組み、普段の授業や今川パワーアップタイム週間を取り入れながら、全種目で全国や大阪市平均を上回るよう、さらに体力・運動能力の向上実践に取り組んでいく。